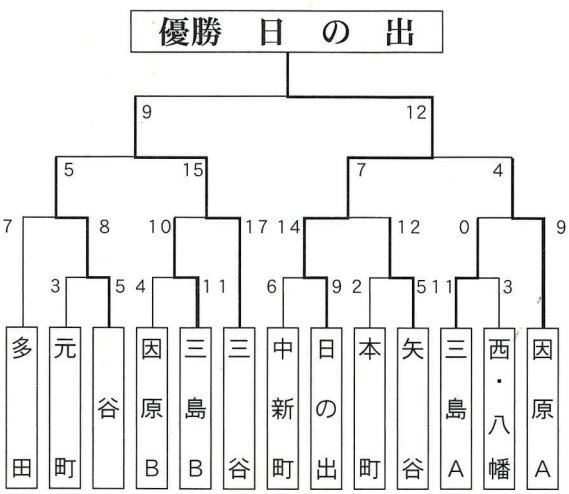
広報
Town Newsletter

かわもと

緑にこだます音楽の里

2005 10 October No.414
平成17年
http://www.kawamoto-town.jp/
ホームページでは、カラー写真で記事をご覧いただくことができます。

3日間の熱戦を制し、優勝を果たした日の出チーム



第四十七回川本町親睦野球大会（町体育協会野球部主催）が十月二日から四日まで開催され、十三チーム（十二自治会）が参加し熱戦を繰り広げました。

開会式では参加者を代表して田中修さん（多田）が選手宣誓。その後、選手達は町民球場と中学校グラウンドの二会場に分かれ、好プレー、珍プレーを連発し応援の人たちの盛んな歓声を受けました。

今年は天候が不順で、雨混じりの中、思うようなプレーができない選手が多かったですが、中学生から六十代の参加者みんなが野球を楽しみながら、はつらつプレーで大会を盛り上げました。

議会だより かわもと

No.75
発行
島根県邑智郡川本町川本
川本町議会
TEL(0855)72—0068(専用)
FAX(0855)72—0635
〒696—8501
編集 議会広報委員会
印刷 佐々木印刷株式会社
発行日 平成17年10月20日

お知らせ
きびしい財政事情の中、経費節減のため、限られたスペースではございますが、「広報 かわもと」の紙面に併せて掲載することといたしましたのでご理解を賜りますようお願いします。

こんな議案を審議した

平成十七年第三回川本町定例議会が九月十五日から二十二日までの八日間、開催された。

はじめに樋口町長の行政報告があり、条例の一部改正五件、補正予算五件、決算認定六件、人事案件一件その他案件二件の三十六議案が提案され審議の結果、原案どおり可決した。

また、今議会に諮問された人事案件三件についても同意した。

一般質問は八名から当面する町政の諸問題について質問があり活発な論議が展開された。

一般質問に先立ち、決算特別委員会で十六年度決算について審議し、最終日、委員長が下記意見を付帯して、結果報告の後採決が行われ、すべての日程を終了した。

人事案件

- 教育委員会の委員の任命について、全員賛成で同意した。

記

氏名 坂根 豊 氏
住所 川本町川内

- 人権擁護委員候補者の推薦について、全員賛成で同意した。

記

氏名 大畑善雄 氏
住所 川本町川本

氏名 山下洋子 氏
住所 川本町因原

氏名 下垣清子 氏
住所 川本町北佐木

議員発議（意見書提出）

町税の滞納額は千67万4千円、他に住宅使用料の滞納額444万5千円、国民健康保険税滞納額948万6千円等になっている。町財政の運営を進める中で公平負担の視点からも滞納額の増加は極めて影響が大きく、各主管課においても納入義務者、納税者に対してあらゆる機会を据えて接触を図り期限内の納入はもとより滞納額の圧縮に全庁的な取り組みが求められている。法的な処理を進める中で滞納額の圧縮に努めてほしい。

議長 瀬上 康浩 殿

平成十七年九月二十二日

決算特別委員長
圓山 達雄

：“夢と元気”創造プロジェクト）

一般質問

町の財政状況を問う。

樋口町長＝基金枯渇は延びたが、厳しいことに変りはない。

大畑議員

昨年の町政座談会で示された財政見直しに比べて、若干ではあるが、改善の方向にあると思うが、今後の財政見通しをどう見直しをしているのかを問う。

樋口町長

平成十六年より三年間を財政非常事態回避期間として設定し、構造的な収支不足の解消に取り組んでおり、平成二十年度までに、単年度で一億から一・五億円の収支不足を圧縮することができると見込んでいる。しかし、基金の枯渇が三年間延びただけで、厳しいことに変わりはない。町の収入の半分を占める地方交付税額について、平成十九年度以降は、見通しがつかない状況であり、この動きを意識しながら、行財政運営をする必要がある。

その他の質問

- 行財政改革について。
- ＡＬＴの活用について。

新設学校の校名について町長の考えを問う。

樋口町長＝公募となるが意見を聞き県当局へ働きかける。

飯田議員

川本高校と邑智高校の統合により平成十九年四月に県内初の普通科総合選択制の新学校が現在の川本高校に開校される。校名については公募するとあるが現行の校名、川本・邑智の使用を妨げないというものである。町長の考えを問う。

樋口町長

全国的な公募となり、学校名が変われば、校歌、校章も変わると聞いているが現在の校名使用もできるので町としては現在の川本高校の校名は長い歴史、伝統があり1万2千名という数多くの卒業生もおられるので場合によっては、卒業生会、諸先輩方の意見を聞きながら県当局に働きかけも考える。

その他の質問

- 農業用水の確保について。

川本高校の音楽科新設について問う。

樋口町長＝可能性を県と協議する。

片岡議員

平成十九年度から総合選択制の一学年四学級の統合校として存続することが決定した。しかし、二・三年先には矢上高校との統合案が予測される。その統合競争に勝ち残るためには、進学率を上げ、他市町の学生に選ばれる高校になる必要がある。「活力と潤いに満ちた音楽の町」を目指す本町は、本町の方針にそった特色のある高校づくりを目指し音楽科の新設を県に要望すべきではないか。

樋口町長

総合選択制の普通科で決定しており、新たに科の新設は難しい。音楽コースを設けることが可能か検討してみる。

その他の質問

新交通システムの提案。増加を続ける後期高齢者など交通弱者のためにも、戸口から戸口への輸送が可能となるデマンドバスシステムの検討が必要だ。

新３Ｓ事業（かわも
説明会

「川本高校」支援策を問う。

樋口町長＝県当局へ強力に働きかける。

瀬尻議員

平成十九年四月開校の新設校について、県教委・両校関係者でつくる「開校準備委員会」で内容等を検討して行くとされているが、予測される検討事項について、町として独自に意見集約をし強力に働きかけるべきではないか。

樋口町長

住民の期待は大きく、住民に身近で親しみのある新しい川本高校を実現させるためにも大変重要なことだと考えている。予測される課題や検討内容によっては川本町独自の検討チームを作り、県当局へ強力に働き掛けをしてまいりたい。

その他の質問

- ごみの減量対策について。

旧邑智町は可燃ごみをこの二年で45％減少している。これに対し川本町は12％しか減少していない。川本町独自の減量対策が必要ではないか。

健康で気持ちのいい町、川本町に。

樋口町長＝〝健康〟と環境・心の美化、合わせてやっていく。

山下議員

地域資源を活用した健康による活性化プラン、かわもと〝夢と元気〟創造プロジェクトに取り組むにあたっては、日常ふだんに手軽にできる〝環境の美化〟に心がけ〝健康で気持ちよく住める町〟に。

樋口町長

〝健康〟のことを提案している、このことを町民のみなさんといっしょにやりたい。ひとりひとりが自分のまわりで、できることからきれいにしていけば気持ちのいい町になる。環境・心の美化も合わせてやっていきたい。

山下議員

環境がきれい、安心して住める町は住民の願い。町は公共物、溝など点検を、住民も自ら。町全体を健康に、そのことが新３Ｓ事業の成功に。

その他の質問

- 川本町の地震等防災対策は。
- 十月からはじまる改悪された介護保険を問う。

役場業務の民間委託について。

百田総務課長＝簡素で効率的な体制となるように検討する。

植田議員

役場職員数が平成十三年から現在十九名の減である。また、年度末には数名の退職者があるようだが、減少と行革のスピードが同調していれば問題はないが、そうではなく住民サービスに支障をきたしつつあるのではないか。従来の仕事量の減少もなく、職員の資質の急向上も望めない。民間委託のできる業務を早急に洗い出し実行していただきたい。このことにより民間にも活力が出て、住民サービスの低下も防げると思うがどうか。

百田総務課長

指摘のとおり勧奨による退職者は予想を上回る早さで進んでいる。財政面では削減効果は大きいが、事務の停滞を懸念している。民間委託の推進には、類似団体の状況や民間の受託提案があれば提案していただき、メリットが生じるよう委託の可能性を探りたい。

その他の質問

- 新３Ｓ事業について町長の決意を問う。
- 公有建物のアスベストの有無と対策を問う。

町営住宅の家賃滞納について。

山下住民課長＝収納対策委員と協調し、きめ細やかに対応する。

圓山議員

町営住宅の家賃未納についてどのように対処しているか。

山下住民課長

十六年度末で29名。金額で444万4千712円の滞納がある。その対策としては収納対策委員と協調し、きめ細やかに対応している。更に三カ月以上の滞納があれば督促状の発行、保証人への連絡。強制退去を求める場合は担当者から上部に起案書を提出し退去していただく方法を考えている。

現在90万4千円（20名）集金し完納者は10名になっている。今後も役場の信用を失わないように努力をします。

その他の質問

●町有財産の処分状況は。

湯谷・三俣地区渇水対策について。

市川地域整備課長＝十八・十九年度で実施する。

河田議員

湯谷地区では慢性的な水不足があるし、弥山荘についても独自の施設はあるが、連休など客入りの多い時には川本より毎年給水をしている。

早急に安定供給できるよう対策を図られたい。

市川地域整備課長

十八・十九年度で整備を行い、住民の不安を解消する。

その他の質問

●農業公社の運営費補助について。

木村政策推進課長

担い手の確保と農地の有効活用や新規就農者・新規農業参入企業の受け入れは、活性化するためには必要である。

●活性化プランについて。

木村政策推進課長

町民総体の活性化運動に発展させる。

樋口町長

すべての責任を取ってでも川本を活性化させる。

川本町次世代交流グラウンドゴルフ大会

編集後記

実りの秋になりました。

九月定例議会は、平成十六年度決算の審査を行い承認しました。緊縮予算の中、町民の皆様にはご協力いただき、ありがとうございました。

来年四月から、公有施設の指定管理者制度が始まります。これにより、民間企業、ＮＰＯなどによって管理運営が可能になります。手を上げてみようと思われる法人・団体は担当課にご相談ください。

しまね総力結集再生事業により、かわもと〝夢と元気〟創造プロジェクトがスタートしました。活力と潤いに満ちた音楽の町を目指し、四つのプロジェクトが動き始めました。緊縮財政で公共事業の槌音の響かない今、このプロジェクトに寄せる期待は大きいものがあります。町民の皆様の、絶大なご協力をよろしくお願いします。

実りの秋になりますように。

特集

川本町の子どもたち

第二回 食●育 ～子どもたちの朝ご飯～

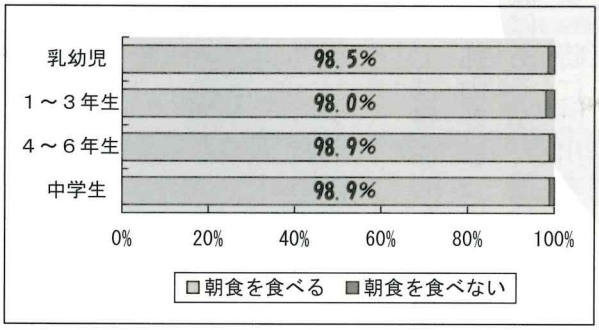
今回は、食育の一つである朝食について川本町の子どもたちの実態と活動の様子などをお届けします。

みんな、朝ご飯はしっかり食べています！

グラフ1に示すように、乳幼児から中学生まで、ほとんどの人が朝食をとっています。前回の特集では遅寝遅起きの子どもが増えていることをお伝えしましたが、みんな朝食はしっかりと食べているようです。

しかし、ほんの数人ですが、朝食をとっていない人の中では、夕食後にお菓子を食べていたり、夜更かしをしたりして朝食が食べにくくなるという実態が分かりました。

〈グラフ1〉

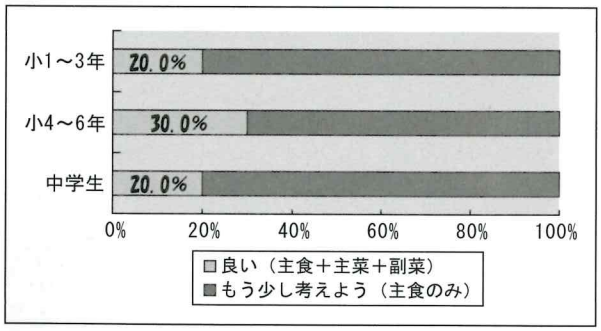


朝ご飯の栄養バランスは？

グラフ2より、朝ご飯は食べているけど、その内容を見てみると主食＋主菜＋副菜がそろった内容の食事を摂っている人はわずか三割しかいない状況が分かりました。

主食とは、ご飯やパン、麺類のことを言います。中にはあんパンなどの菓子パンを食べている人もいるようです。そのようなパンはその名の通り、おやつの部類に入ります。このように主食のみ食べている人が約八割もいることが分かりました。

〈グラフ2〉



体にいいことがある 朝ご飯！

一、目覚まし効果

音を聞く、色を見る、ものを触る、味わうなどさまざまな角度から刺激されて脳や体が目覚めます。

二、肥満防止効果

お昼にお腹がすいて一度にたくさんの量を食べるとエネルギーが体にたまりやすく太る原因になります。

三、快便効果

朝ごはんを食べると休んでいた腸が刺激されて排便しやすくなります。

四、脳のエネルギー源に

朝ご飯でエネルギーを補わないと、脳はエネルギー不足になります。

五、生活習慣病の予防に

一日三回食べないと一回の食事量が多くなります。

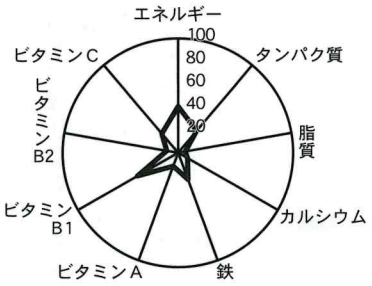
朝寝坊、夜型の生活だと、朝ご飯が食べれない、夜食を食べる…この繰り返しが生活習慣病の予備軍になってしまいます。

あなたの朝食はどのパターン？

～こんなに違う栄養価～

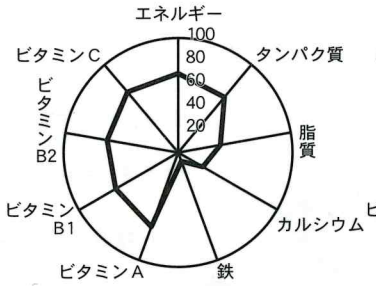
朝食（ごはん）―1

ごはん（1ぱい）、ふりかけ、
たくあん



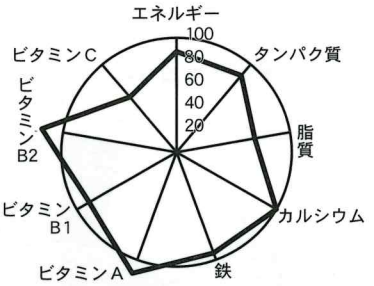
朝食（ごはん）―2

ごはん（1ぱい）、ふりかけ、
たくあん
＋みそ汁（卵入）



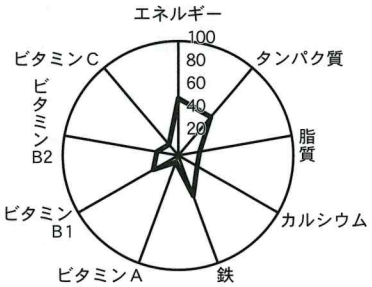
朝食（ごはん）―3

ごはん（1ぱい）、ふりかけ、
たくあん
＋みそ汁（卵入）、牛乳



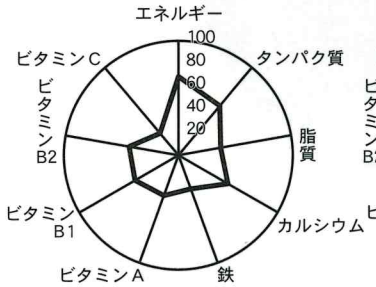
朝食（パン）―1

パン（2枚）、ジャム、
コーヒー



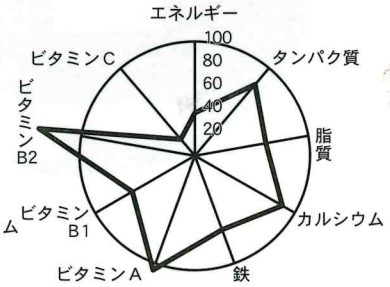
朝食（パン）―2

パン（2枚）、ジャム、
牛乳



朝食（パン）―3

パン（2枚）、ジャム、
牛乳＋ゆで卵（1コ）



主食・主菜・副菜・汁ものをそろえて食べましょう

日本の食事の基本パターンは、ごはんを主食にして、魚、肉、野菜、果物、海藻、豆腐などいろいろな食品を組み合わせておかずにして食べます。一回の食事で左のテーブルにならんだ五つのグループから一皿ずつ食べると食事のバランスがとれます。

- 主　食：ごはん、パン、麺など
- 主　菜：肉、魚、卵、豆腐など
- 副　菜：野菜を中心とした料理
- 汁もの：みそ汁、スープなど
- 果物、牛乳など

気をつけたいこと

★主食＋主菜＋副菜をそろえる
　主食（エネルギーになる）主菜（体を作る）副菜（体の調子を整える）
★献立に野菜を入れる
★味付けはうす味に
★あまいお菓子（菓子パンやドーナツ）やジュースはやめよう

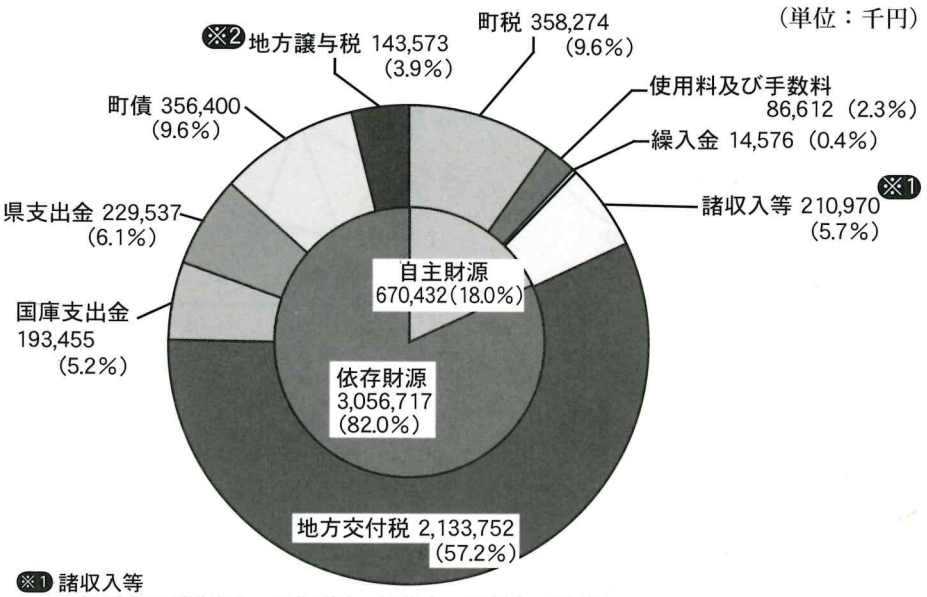
平成16年度　普通会計決算状況

平成十六年度の各会計決算が九月定例議会で承認されました。普通会計では、人件費をはじめとした経常的な経費の削減、新規建設事業の抑制、町債の借換による支出額の平準化など、財政健全化に対する取り組みを行いましたが、国の三位一体の改革による地方交付税の減少などにより、依然厳しい状況におかれています。引き続き抜本的な歳出構造の見直しを進めるとともに、地域の課題解決のための諸施策を重点的に進める必要があります。

歳入総額　37億2,714万9千円

（前年比５億7,887万3千円、13.4％の減）

（単位：千円）



※1 諸収入等
分担金及び負担金、財産収入、寄附金、繰越金、諸収入

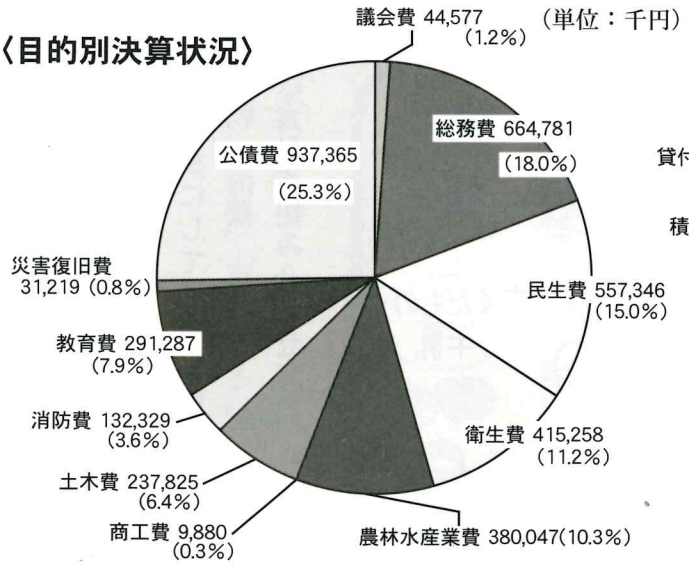
※2 地方譲与税
地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

歳出総額　37億191万4千円

（前年比５億5,598万9千円、13.1％の減）

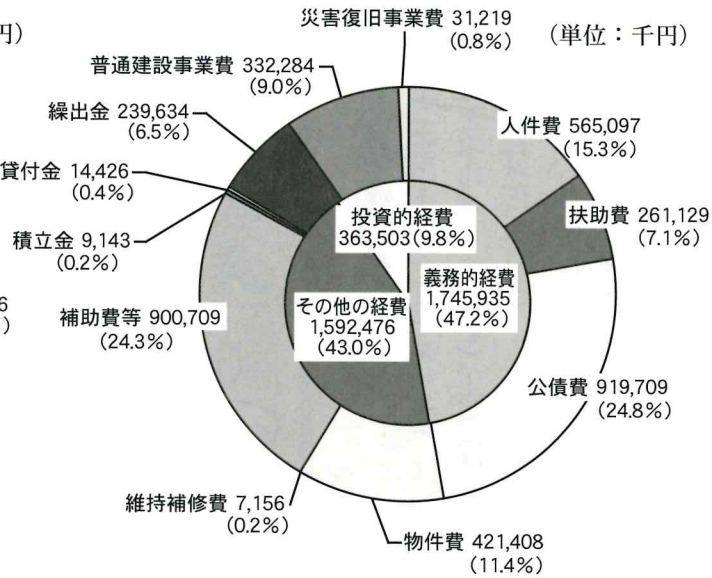
〈目的別決算状況〉

（単位：千円）



〈性質別決算状況〉

（単位：千円）



■財産の状況

基金現在高 …… ６億1,606万6千円
（前年比543万３千円、0.9％の減）

土地 …… 3,012,071㎡
（前年比224,580㎡、8.1％の増）

建物 …… 59,473㎡
（前年比33㎡、0.1％の減）

出資金 …… ３億45万4千円
（前年度と増減なし）

債権 …… 6,703万9千円
（前年比357万円、5.6％の増）

■地方債の状況

地方債現在高
63億8,986万7千円
（前年比4億2,295万5千円
6.2％の減）

※ 詳細については、川本町公式ホームページなどをご覧ください。

まちの話題

中川俊介さん一時帰国 9/22

昨年十二月二十六日に甚大なる被害を出したスマトラ沖地震によるインド洋大津波。当時、現地で働いていた中川俊介さん（中倉）が母校川本小学校でその体験を児童たちに伝えました。中川さんは大学卒業後、二年間海外青年協力隊員として活動し、その後スキューバーダイビングのインストラクター取得のためタイのピピ島に滞在中、被災されました。津波直撃時、海中にいて難を逃れた中川さんでしたが、島の様子には愕然としたそうです。リゾート地であった美しい風景は一変、建物は倒壊し、辺り一面別世界となったそうです。

その後島に残りボランティアとして復興支援活動を展開。今回の帰国では日本の子供たちに、ピピ島の子供たちの気持ちを知ってもらい、この災害を忘れないでほしいと現状を伝えました。

絵本を使ってあの日の「出来事」を伝える中川俊介さん

中川さんは「みんなのピピ島」と名付けた絵本の日本語版を製作。あの日の「出来事」をピピ島の四十五人の子供たちが絵と作文に書きました。絵本はオールカラー、百三十二ページ、千二百円です。経費を除いた全額をピピ島内の学校再開や被災者の教育支援に役立てます。

問合せ 中川さん
電話０８５５・７２・１１５８
メールは phi-phi@hotmail.co.jp

いつまでもお元気で ～長寿の祝い～

川本町では、「敬老の日」を前に、百歳以上の方と、九十五歳、九十歳を迎えられる方々に、敬老の記念品を贈り、長寿をお祝いしました。

九月十二日・十四日には、樋口町長が、それぞれの方の自宅などを訪れ、「お体には十分気を付けて、いつまでもお元気で」と声をかけ、祝いの品を手渡しました。

また、十日には「やすらぎ荘」、十三日には「江川荘」の敬老会にも町長が出席し、入所者の方々にも祝いの品をお贈りしました。

なお、川本町で今年九十歳を迎えられる方が二十三人、九十五歳を迎えられる方が八人おられ、百歳以上の方々は、次の皆さんです。（年齢は、今年の誕生日現在の満年齢で計算しております。）

百六歳　中垣　ヱイさん（江川荘）
百二歳　白石　サマさん（江川荘）
百一歳　樋原カメヨさん（下新町）
百一歳　南山カズ子さん（木屋原）
百歳　伊藤　サツさん（奥三俣）
百歳　天津　角郎さん（上三島）

長寿の祝い品を受け取る天津角郎さん

大盛況！ 川本町神楽共演大会 9/25

第二回川本町神楽共演大会が悠邑ふるさと会館で行われ、多くの観客が勇壮華麗な舞を楽しみました。

昨年から始まった川本町神楽共演大会。今年も地元神楽団（川本、三谷、三原の三神楽団）で実行委員会を結成し、町内外あわせて十社中が参加し盛大に開催されました。

また、江川太鼓同好会と町内神楽団三団体の共演による「おろち」では、勇壮な太鼓の響きの中を八体のおろちが舞う様子に観客からはまた一段と大きな拍手が沸き上がりました。

神楽と江川太鼓の共演は大迫力！

笑顔の野菜を作る会

笹畑地区の有志の四名が、「子供たちに安全で旬な野菜を食べさせたい」と学校給食に野菜を供給する「笑顔の野菜を作る会」を発足しました。

代表の岡田ひとみさんは、「スーパーに行けば、いつの時期にもすべての野菜があるという社会の中で、すべての食べ物には一番おいしい時期、「旬」というものがあるということを子供たちに知ってもらいたい。そして、農薬を使わない野菜を食べてもらいたいと思い、この会を発足しました」と話されています。

今年は、十一月十七日にある「おいしい島根の日」に野菜を供給し、来年からは徐々に作付面積を広げていく予定です。

教育委員会・各施設からのお知らせ

今月の呼(交流)・集(参加)・鑑(鑑賞)

教育委員会 ☎72-0594
悠邑ふるさと会館 ☎72-0001
かわもと図書館 ☎72-0025
かわもと音戯館 ☎72-3080
次世代サポートセンター ☎72-1570

月	日		催事名	場所	内容・時間／料金	お問い合せ
10	29(土)	集	川本町一周駅伝競走大会	川本町内	川本町一周８区間の駅伝競走 10：00～12：00/別途申込	教育委員会
	30(日)	集	県民大学	産業祭会場	江の川流域の特産物について 9：30～12：00/無料	教育委員会
11	4(金)	集	ミニ読書会	次世代サポートセンター	在宅保育親子対象読み聞かせ、育児相談 10：30 ～ 12：00/ 無料	かわもと図書館
	5(土)	集	サケの観察会	川本西公民館 濁川周辺	サケの観察会 9：00 ～ 12：00/ 無料	教育委員会
	12(土)	集	こども読書会	悠邑ふるさと会館和室	ミニ生花、詩 10：30～12：00/300円	かわもと図書館
	12(土)	集	チャレンジ学級	三瓶自然館サヒメル	埋没林と星空観察 13：00～21：00/1,000円	次世代サポートセンター
	15(火)	集	悠々大学	アクアス	水族館の裏側見学 10：00～15：00/入場料別途	教育委員会
	21(月)	集	本とあそぼう全国訪問おはなし隊	すこやかセンター	キャラバンカーで自由読書、おはなし会 10：00～11：00/無料	かわもと図書館
	27(日)	鑑	第19回川本町音楽芸能祭	悠邑ふるさと会館大ホール	川本町音楽芸能協会加盟団体による発表会（チャリティ） 10：00～15：30／無料	悠邑ふるさと会館
	30(水)	集	おすすめの本勉強会	かわもと図書館	わらべうた研修 10：30～12：00/無料	かわもと図書館

●悠邑ふるさと会館／火曜日休館日　●かわもと音戯館／月曜日・火曜日休館日　●かわもと図書館／火曜日・月末休館日

図書館 ぶっくんだより No.102

おすすめの本

新刊案内

【子ども向き】

「ものしり絵本　国旗」
ひらいふみと絵　田中義一監修
世界 192 カ国の国旗を、10 の地域に分け、民族衣装や史跡とともに紹介。（小学校低～中学年向き）（ＰＨＰ研究所）

「くんれんばっちり」　工藤直子作　長　新太絵
おはなしスキップ　リュックのりゅう坊２
（小学校低学生向き）（文溪堂）

「24 ガールズイン７デイズ」
アレックス・ブラッドリー著　三辺律子訳
不思議に笑えるラブストーリー。(中学～高校生向き)（理論社）

【一般向き】

「お手伝いで子どもの心を鍛えなさい」　町沢静夫著
愛情としつけの知恵 21。精神科医が伝授する子育て法。
（エクスナレッジ）

「書きたい、書けない、「書く」の壁」丸谷才一ほか著
シリーズ日本語があぶない　（ゆまに書房）

「日本の香り」　松榮堂監修
香りの歴史 1400 年のエッセンスを紹介。(コロナ・ブックス 120)

その他たくさん入りました。

本とあそぼう 全国訪問おはなし隊来町

絵本や児童書を載せたブックキャラバンカーが川本町にやってきます！

日　時　11月21日(月)　10：00～11：00
場　所　すこやかセンター
内　容　キャラバンカー展示本の自由読書、訪問隊によるおはなし会
対　象　幼児～小学校低学年程度

こども読書会ミニ生花を楽しもう

詩を声に出して読んだりお話しを楽しんだ後は、身の回りにある食器を利用してミニ生花に挑戦してみよう。

日　時　11月12日(土)　10：30～
場　所　悠邑ふるさと会館和室
内　容　詩、ミニ生花
持ってくる物　はさみ、カップやグラス・お椀等１個（花弁）
参加費　300円（花代）

2005年（第59回）読書週間 展示貸出 テーマ「映画・テレビ・ドラマ原作本」

期間　10月14日～11月25日

「映画は観たけど原作本は読んでない。」という方は、意外に多いのでは？読書の秋、芸術の秋です。ぜひ、読み比べてみてください。

教育委員会

劇団四季ファミリーミュージカル「人間になりたがった猫」

チケット販売開始は 11 月 26 日(土) 10：00 ～

※先月の広報誌において 11／27(日)からのチケット発売とお知らせいたしましたが、都合により 11／26(土)に変更いたしました、ご了承ください。

この作品のテーマは「仲間の大切さ」「団結の大切さ」。

随所に人間と人間の触れ合い、仲間の大切さが語られ『皆で力を合わせて困難を乗り越えれば、その喜びももっと大きく素敵なものになる』という事を教えてくれます。劇中で唄われる♪すてきな気持ち♪すてきな仲間は歌詞の一言ひとことが胸にジ～ンと響いてきます…是非ご家族で、猫のライオネルと“大切な何か”を見つける旅にでかけましょう！

※この公演は財団法人舞台芸術センターと川本町との共催により、日頃生の舞台に接する機会の少ない地域の皆様にご覧いただくために企画され「劇団四季」が出演するもので、自転車振興会からの補助が、地元の皆様に還元される公演です。

次世代サポートセンター

次世代サポートセンター発

○学習支援　～地域とのかけはし～

サポートセンターでは学校の授業に地域の名人を紹介し、一層充実した学習活動を支援しています。現在は、小学校でのエゴマ、柿、柿の葉による料理作り、森林や里山に見られる身近な生き物について学ぶ森林教室についてすすめています。

またボランティアをしてみたい小中高生が町のイベントに参画できるように、各方面に働きかけをしています。

小中校生の皆さん！子どもたちと活動してみたい地域の皆さん！お気軽にサポートセンターへおたずねください。

○子育て相談

９月よりサポートセンターでも定期的な育児相談の窓口を設けました。今月は、ミニ読書会の後、保健師を囲み情報交換等を行いました。

ミニ読書会は毎月第１金曜日、10 時 30 分から開催しています。気軽にお越しください。

教育委員会

こんにちはカレンです。

ドイツについて　その２

ドイツは 16 の州に分かれています。バーデン・ヴュルテンベルク州（私の出身地）の特徴は、とても美しい所が多いということです。シュヴァルツヴァルト（ドイツの黒い森と呼ばれる観光地）、ボーデン湖、ライン、ドナウ、ネッカーの各河川の渓谷、シュヴァーベン高原など、保養地や観光地がたくさんある地域です。

また、バーデン・ヴュルテンベルク州はドイツでも有数の経済拠点であり、ドイツで最も輸出量の多い州でもあります。世界的に有名な、ダイムラー・クライスラーやポルシェ、ＳＡＰ、ＩＢＭ等の世界的企業などがあります。また、数百に及ぶ世界的な中小企業が製品を生産しています。

州都シュトゥットガルトは人口 58 万 8,617 人で、ドイツ有数の工業地帯で中心となっています。また、この地域は、盆地となっています。私がかつて住んだことのある、京都の地形と大変よく似ています。景色も大変美しいです。

来年はドイツでワールドカップサッカーが開催されます。サッカーはドイツではとても有名なスポーツで、ドイツサッカー連盟には 626 万人の会員が登録しています。アマチュアクラブも国内には何千もあり、プロリーグの試合は毎週何十万人もがスタジアム観戦して興奮しています。来年のワールドカップサッカーのオープニング試合は６月９日に予定されています。皆さんも是非、訪れてみてください。（つづく）

歳　出

- 食の安全安心確保事業　100万円
- 農業集落排水処理事業特別会計繰出金　△1,446万4千円
- かわもと図書館図書購入費増額　100万円
- 災害復旧費（農地5カ所、農業用施設1カ所）1,184万9千円

詳しくは、別に発行する「もっと知ろう まちの予算 補正予算編」をご覧ください。

また、衆議院解散に伴う選挙費として、補正予算（第2号）を編成し、歳入歳出それぞれ935万8千円を追加しています。

町税、水道料などが郵便局での口座振替が可能になります

川本町は10月1日から「日本郵政公社」を収納代理金融機関として指定しました。これまで銀行等でしか納めることが出来なかった、町の税金及び各種使用料の納付が郵便局から出来るようになります。

ただし、郵便局での取扱は、口座からの自動引落のみで、納付書による納付は出来ませんので注意してください。

なお、自動引落の開始は、郵政公社との事務手続き等のため12月分からとなります。口座引落の依頼については、11月以降に町内各郵便局の窓口で手続きをしてください。

平成17年10月1日以降の川本町指定金融機関等は次のとおりです。

○指定金融機関

山陰合同銀行川本支店

○収納代理金融機関

島根中央信用金庫川本支店
島根おおち農業協同組合川本支所
日本郵政公社中国支社（川本郵便局、川本因原郵便局、三原郵便局等）

手続き等ご不明な点につきましては、役場各担当課にご連絡ください。

問合せ　役場出納室
☎72—2330

募　集

田舎いいとこ体験ツアー～第2弾～

川本町名産の西条柿を収穫し、秋空の下、川本町の秋味を堪能しませんか？

日　時　11月5日(土)10時～16時
内　容　西条柿収穫と羊毛の手つむぎ体験。昼食には地元産の新米と野菜と漬け物を食べ放題
参加費　大人3,500円
中学生以下2,500円
※西条柿(5kg)、あんぽ柿(5個)プレゼント
申込み・問合せ
川本町農業公社　☎72—2450

第6回川本町民ゴルフ大会

日にち　11月20日(日)
場　所　金城カントリークラブ
参加料　2,000円
申込期限　11月4日(金)
申込み・問合せ
川本町体育協会事務局(教育委員会内)
☎72—0594

地芝居公演　子供役者

今年度も地芝居公演を来年2月26日に行います。そこで今回の公演に出演してくれる子供役者を募集します。チャレンジしてみませんか？

人　数　15名程度
対　象　小学生及び中学生
申　込　住所、氏名、年齢、連絡先、学校名を記入の上、ハガキまたはFAXでお申し込みください。
申込期限　11月14日(月)
申込み・問合せ　〒696-0001
邑智郡川本町川本332-15 悠邑ふるさと会館内
悠邑ＧＥＮＫＩおこしの会
☎72—0001
ＦＡＸ72—1061

イベント

第29回川本町産業祭

テーマ　「食と健康」

10月29日(土)
9：30　オープニングセレモニー　川本小学校鼓笛隊
10：00　川本町一周駅伝スタート
10：30　健康ストレッチ
11：00　親子のエコクッキング
13：30　健康ストレッチ
14：30　伝承のおもちゃ体験
15：00　婦人会踊り

10月30日(日)
9：30　県民大学講演「江の川流域の特産物について」
12：00　よさこい
13：30　地元食材活用コンテスト
13：30　ＪＡゲート通し大会
15：00　よさこい

★かわもとのテント市両日開催

会　場　川本中央大通り
問合せ　川本町産業祭実行委員会
☎72—0123(川本町商工会内)
☎72—0636(役場政策推進課内)

11月の保健行事

役場健康福祉課　☎0855-72-0633

今月は、三種混合　予防接種の予定月です。体調を整えて、接種しましょう！

2日(水)　●健診結果報告会
9：00～9：45　三原多目的集会所
10：00～10：30　下佐木集会所
10：45～11：30　古屋口集会所
13：00～13：45　田窪集会所
14：00～16：00　北公民館
講演会「生活習慣病と食事」国澤医院・金守君子栄養士

4日(金)　●転倒予防教室
13：30～　親和集会所

8日(火)　●胃がん検診
7：30～10：00西公民館
お出かけ保育「散歩に行こう」
9：30～11：30　因原保育所

9日(水)　●乳幼児健診
13：00～　すこやかセンター
●転倒予防教室
13：30～　三大字集会所

10日(木)　●精神デイケア
9：30～　すこやかセンター

11日(金)　●三原健康相談
9：30～10：30　北公民館
10：45～11：30　親和集会所

15日(火)　お出かけ保育「散歩に行こう」
9：30～11：30　川本北保育所

17日(木)　のびのびくらぶ（妊婦・乳幼児・成人相談）
10：00～11：30　すこやかセンター

24日(木)　●転倒予防教室
10：00～　川本公園管理棟

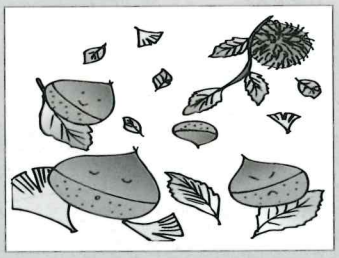
27日(日)　ひだまりサロン
10：00～12：00　すこやかセンター

28日(月)　●健診結果報告会
9：15～9：45　矢谷集会所
10：00～10：20　長原集会所
10：30～11：00　市井原集会所
11：15～11：30　中倉集会所
13：15～15：30 朝霧館

30日(水)　●講演会「生活習慣病と整形外科」加藤クリニック院長・加藤寿陽先生
13：30～14：00　西公民館

は在宅児の皆さんが参加することができる楽しい催しです。是非ご参加ください。

※基本健診：加藤病院、加藤クリニックで行っています。10月は70歳以上の方が対象です。年1回は健診を受け、病気の予防・早期発見に努めましょう



交差点情報（こうさてんじょうほう）

川本町役場政策推進課
〒696-8501
島根県邑智郡川本町大字川本545-1
☎ 0855-72-0636
Fax 0855-72-0635
Hp http://www.kawamoto-town.jp/
E-mail kawamoto@kawamoto-town.jp

町の人口

男	2,066人（2,156）
女	2,262人（2,317）
計	4,328人（4,473）

うち65歳以上 1,602人（1,621）
うち15歳未満 442人（470）
世帯数 1,929戸（1,963）

平成17年10月1日現在の住民登録による
（ ）は前年同月

国民年金

年金ダイヤルサービス

年金に関する電話でのご相談はお近くの社会保険事務所でお答えしておりますが、全国どこからでも照会できる年金相談センターがあることをご存じでしょうか。

10月31日から全国どこからでも一般固定電話の場合、市内通話のみの通話料でご利用いただけますのでご利用ください。

○年金請求などの相談
０５７０－０５－１１６５
○既に年金を受け取っている方
０５７０－０７－１１６５
受付時間 8：30～17：00
（土日祝日を除く）
問合せ役場 住民課
☎７２―０６３２

お知らせ

スモークマシンを整備

江邑少年婦人防火委員会は、㈶日本防火協会が行う防火防災訓練用資器材助成事業として煙体験ハウス及び煙発生装置を宝くじの助成金で整備しました。

シートで覆われたテントの中に、スモークマシンでたいた煙を充満させ、その中を通過し、火災の際の煙を体験するものです。

この資器材は、川本消防署に常置し、学校、事業所などの訓練に利用し、火災予防・防火思想の普及啓発に活用していきます。

体験等を希望される方は川本消防署までご連絡ください。

問合せ
江津邑智消防組合川本消防署
☎７２―０１１９

坂根豊教育長再任

去る9月29日の教育委員会にて、坂根豊教育長が再任されました。任期は、平成17年10月1日から平成21年9月30日までの4年間です。

道路交通センサス

国土交通省、島根県、日本道路公団等では10月から11月にかけて「道路交通センサス」を実施します。調査員がお願いに上がった際にはご協力をお願いします。

問合せ 島根県土木部道路建設課
☎0852―２２―６２５１

暮らし

島根県最低賃金の改正

時間額 612円
適　用 平成17年10月1日から
問合せ 島根労働局労働基準部
☎０８５２―３１―１１５８

無料人権相談所の開設

人権擁護委員による無料人権相談所を開設します。家庭問題、相続問題、登記手続などお気軽にご相談ください。

日　時 11月18日（金）
10：00～15：00
場　所 すこやかセンター
問合せ 役場住民課
☎７２―０６３２

女性人権ホットラインの開設

毎年、11月12日から25日までを「女性に対する暴力をなくす運動」期間として、「女性人権ホットライン」を開設します。相談は無料で秘密は厳守されますのでお気軽にお電話ください。

日　時 11月20日㈰
10：00～17：00
電　話 「女性の人権ホットライン」
0852-26-8869
主　催 島根県人権擁護委員連合会・松江地方法務局
問合せ 役場住民課
☎７２―０６３２

マイバッグキャンペーン実施中

ごみの減量化やリサイクルに関する理解を深めるため、県内の「しまねエコショップ認定店」でマイバッグキャンペーンを10月から11月まで実施しています。

この期間中にマイバッグキャンペーンに応募された方の中から抽選で景品が進呈されます。

川本町内でのキャンペーン参加店
- ㈱Aコープしまね川本生活センター
- ㈲萩原商店
- ヤマザキショップかないや
- ＪＡ島根おおち三原店舗
- インフォメーションセンターかわもと

参加方法
①マイバッグを持参し、レジ袋を断った場合にポイントカードに押印。ポイントカードは各参加店のレジにあります。
②ポイントカードが一杯（7ポイント）になったら、店内の応募箱に応募。応募箱は各参加店に設置してあります。
③各月の応募者の中から抽選で景品を進呈。

問合せ 役場住民課
☎７２―０６３２

川本町一般会計補正予算（第3号）

平成17年度川本町一般会計補正予算（第3号）は、歳入歳出それぞれ631万2千円を増額し、歳入歳出予算の総額はそれぞれ34億828万1千円となりました。

主な内容は次のとおりです。

歳　入
- 県支出金（農地、農業用施設災害復旧事業補助金など） 1,372万2千円
- 図書購入指定寄附金 100万円
- 繰入金（基金の取り崩しを取りやめたものなど） △3,401万円
- 前年度繰越金 2,523万5千円

広報かわもと　10月　No.414
平成17年10月20日発行

子ども歳時記 — file 48 —

子どもチャレンジ学級＆森の読書会（川本町社会福祉協議会共催）で５月に苗植えを行ったサツマイモの収穫を行いました。小雨の中、大きく育ったサツマイモを一本一本丁寧に土から掘り出し約 150 kgの収穫がありました。

photo：2005.10.8　松田直美さん（畑野）のサツマイモ畑にて

リレーエッセイ 私の趣味 66

「小さな挑戦」

呉羽治恵
―川本町三原―

七年前、すこやかセンターの点字教室に通い始め、その二ヵ月後、川本で阪井和夫さんという視覚障害の方の歌を聴く機会がありました。彼と話をしているうちに、以前沢谷・川本であった実話で深い感銘を受けた「十字架は丘の上に」という本のことを思い出し、是非、彼にこの本を紹介したいと強く思いました。軽い気持ちで参加した点字教室でしたが、視覚障害の方に本を読んでいただくには、点訳をしなければならず、長い道のりではありましたが、この本を点訳し、松江のライトハウスライブラリー（点字図書館）に所蔵していただくことができました。阪井さんをはじめ大勢の視覚障害者の方々にも、この本を読んでいただきたいと願っています。現在も月二回、すこやかセンターにて、点字教室当初からの友人と楽しく活動を続けています。微力ではありますが、これからも自分が役に立てることに挑戦し続けたいと思っています。

発行／川本町役場　編集／政策推進課
〒696－8501 島根県邑智郡川本町大字川本 545 番地 1
TEL.0855-72-0636 FAX.0855-72-0635
ホームページアドレス http://www.kawamoto-town.jp/
Eメールアドレス kawamoto@kawamoto-town.jp